

「松山市地域公共交通網形成計画」の計画期間の延長について

1. 計画期間延長の趣旨

本市では、平成31年3月に、計画期間を平成31年度から令和5年度までの5年間とする「松山市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域の実情に合った公共交通ネットワークの実現に向けて、各種施策に取り組んできた。

そうした中、公共交通の利用者は、人口減少や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の影響などで、コロナ禍以前よりも減少しているほか、公共交通事業者は、燃油価格の高騰や運転手不足等で、「市民の足」である公共交通の維持・確保が大変厳しい経営環境に置かれている。

一方で、地域主体の新たな交通サービスの出現や、運転手不足解消の一助が期待される自動運転の導入、ライドシェアの一部解禁に向けた動きがあるなど、公共交通を取り巻く環境は大きく変化している。

また、本市では現在、近隣の市町を含む松山都市圏で人の移動に着目したパーソントリップ調査を実施しており、令和6年度末に、当計画の基礎データとなる電車やバス、自転車などの交通分担率や、交通手段の乗り継ぎ状況の分析結果が出る見込みとなっている。

このような状況を踏まえ、現在実施しているパーソントリップ調査の分析結果を活用し、次期計画を、まちづくりと一体となった持続可能で利便性の高い地域公共交通網の形成を進めていく新たな計画とするため、現計画期間を令和7年度まで延長し、切れ目なく次期計画を令和8年度から開始することとする。

2. 計画期間延長に伴う変更内容

(1) 計画の期間

現行の計画期間を2019（平成31）年4月～2026（令和8）年3月までの7年間に延長する。

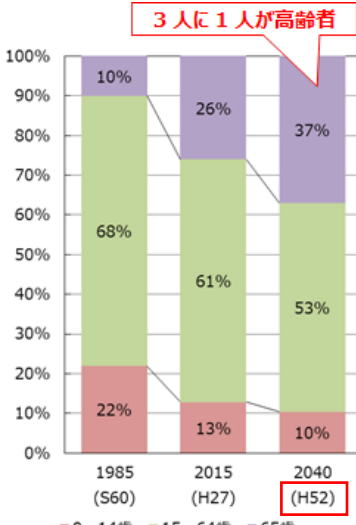
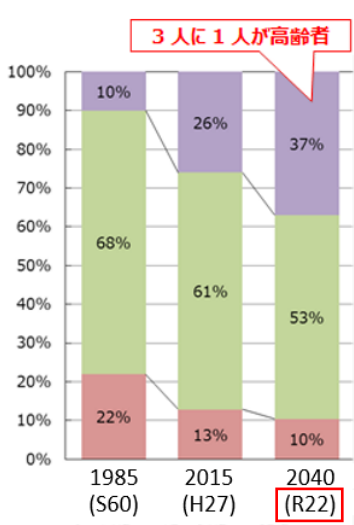
(2) 計画の目標

計画期間延長に伴い、目標年次の数値を令和7年度の数値へ変更する。

(3) 目標達成のための施策・事業

計画期間延長に伴い、実施スケジュールを令和7年度まで延長する。

松山市地域公共交通網形成計画（概要編） 新旧対照表

頁	現 行	改 定 案																																
表紙	2019年（平成31）年3月	2019（平成31）年3月 <u>2024（令和6）年〇月改訂</u>																																
1	1. 計画の概要 （4）計画期間 2019（平成31）年4月～ <u>2024（平成36）</u> 年3月までの <u>5</u> 年間とします。	1. 計画の概要 （4）計画期間 2019（平成31）年4月～ <u>2026（令和8）</u> 年3月までの <u>7</u> 年間とします。																																
1	2. 地域の現状 （1）人口の推移等 松山市の総人口は、2010（平成22）年をピークに減少傾向に転じ、2040（ <u>平成52</u> ）年には1985（昭和60）年の人口水準（2015（平成27）年から約5.7万人減）に達すると推計されています。高齢者人口は2050（ <u>平成62</u> ）年まで増加を続けることが予想されています。	2. 地域の現状 （1）人口の推移等 松山市の総人口は、2010（平成22）年をピークに減少傾向に転じ、2040（ <u>令和22</u> ）年には1985（昭和60）年の人口水準（2015（平成27）年から約5.7万人減）に達すると推計されています。高齢者人口は2050（ <u>令和32</u> ）年まで増加を続けることが予想されています。																																
1	<p>【年齢階層別人口割合の比較】</p>  <table border="1"> <caption>年齢階層別人口割合の比較 (現行)</caption> <thead> <tr> <th>年齢階層</th> <th>1985 (S60)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2040 (H52)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>22%</td> <td>13%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>68%</td> <td>61%</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>65歳～</td> <td>10%</td> <td>26%</td> <td>37%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢階層	1985 (S60)	2015 (H27)	2040 (H52)	0～14歳	22%	13%	10%	15～64歳	68%	61%	53%	65歳～	10%	26%	37%	<p>【年齢階層別人口割合の比較】</p>  <table border="1"> <caption>年齢階層別人口割合の比較 (改定案)</caption> <thead> <tr> <th>年齢階層</th> <th>1985 (S60)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2040 (R22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>22%</td> <td>13%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>68%</td> <td>61%</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>65歳～</td> <td>10%</td> <td>26%</td> <td>37%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢階層	1985 (S60)	2015 (H27)	2040 (R22)	0～14歳	22%	13%	10%	15～64歳	68%	61%	53%	65歳～	10%	26%	37%
年齢階層	1985 (S60)	2015 (H27)	2040 (H52)																															
0～14歳	22%	13%	10%																															
15～64歳	68%	61%	53%																															
65歳～	10%	26%	37%																															
年齢階層	1985 (S60)	2015 (H27)	2040 (R22)																															
0～14歳	22%	13%	10%																															
15～64歳	68%	61%	53%																															
65歳～	10%	26%	37%																															

5. 基本方針と計画の目標
 (6) 施策・事業
 【施策・事業一覧】

計画の目標	検討項目	事業名	短期		中期		長期	備考
			2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	A-1 車両バリアフリー化の推進						見直し
		A-2 自動車から公共交通転換を促進			実施			見直し
バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	B-1 幹線・準幹線交通での高サービスの提供				検討・実施		見直し
		B-2 支線交通のサービス向上				検討・実施		見直し
		C デマンド交通等の運用支援				検討・実施		見直し
交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	D 乗継環境の改善			実施			見直し
地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	E-1 広報活動・イベントの実施			実施			見直し
交通事業者の持続可能な運営		E-2 公共交通の定期利用促進			実施		見直し	
		E-3 地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり			実施		見直し	

5. 基本方針と計画の目標
 (6) 施策・事業
 【施策・事業一覧】

計画の目標	検討項目	事業名	短期		中期		長期		備考	
			2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	A-1 車両バリアフリー化の推進								見直し
		A-2 自動車から公共交通転換を促進					実施			見直し
バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	B-1 幹線・準幹線交通での高サービスの提供							検討・実施	見直し
		B-2 支線交通のサービス向上							検討・実施	見直し
		C デマンド交通等の運用支援								検討・実施
交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	D 乗継環境の改善						実施		見直し
地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	E-1 広報活動・イベントの実施							実施	見直し
交通事業者の持続可能な運営		E-2 公共交通の定期利用促進							実施	見直し
		E-3 地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり							実施	見直し

頁	現 行	改 定 案																																																																																												
8	<p>7. 計画達成状況の評価</p> <p>(1) 計画達成状況の評価</p> <p>【指標と目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の目標</th> <th>検討項目</th> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>現況</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公共交通サービス水準の向上</td> <td rowspan="3">高齢化に配慮したモビリティ環境の構築</td> <td>車両バリアフリー化の推進</td> <td>ノンステップバスなどの導入率</td> <td>80.3% 〔2017(平成29)年度〕</td> <td>85.0% 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自動車からの公共交通転換を促進</td> <td>高齢者の外出率</td> <td>66.6% 〔2015(平成27)年度〕</td> <td>現状維持 〔2020(平成32)年度〕</td> </tr> <tr> <td>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</td> <td>1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕</td> <td>2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バスネットワークの効率化</td> <td rowspan="3">地域状況に応じた公共交通の形成</td> <td>幹線交通での高サービスの提供</td> <td>バス利用者数</td> <td>7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援</td> <td>不便地域・空白地域の人口の比率</td> <td>26.2% 〔2010(平成22)年度〕</td> <td>25.0% 〔2020(平成32)年度〕</td> </tr> <tr> <td>乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> <td>18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>交通結節点の機能強化</td> <td>乗継拠点のシームレス化を推進</td> <td>乗継環境の改善</td> <td>乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> <td>18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>地域住民の機運醸成</td> <td rowspan="2">地域公共交通の活性化・利用促進</td> <td rowspan="2">広報活動・イベントの実施</td> <td rowspan="2">バス定期券利用者数</td> <td rowspan="2">2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td rowspan="2">現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>交通事業者の持続可能な運営</td> <td>地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり</td> </tr> </tbody> </table>	計画の目標	検討項目	事業名	指標	現況	目標値	公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	車両バリアフリー化の推進	ノンステップバスなどの導入率	80.3% 〔2017(平成29)年度〕	85.0% 〔2022(平成34)年度〕	自動車からの公共交通転換を促進	高齢者の外出率	66.6% 〔2015(平成27)年度〕	現状維持 〔2020(平成32)年度〕	高齢者の免許返納者数(65歳以上)	1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕	2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕	バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	幹線交通での高サービスの提供	バス利用者数	7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援	不便地域・空白地域の人口の比率	26.2% 〔2010(平成22)年度〕	25.0% 〔2020(平成32)年度〕	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	乗継環境の改善	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	広報活動・イベントの実施	バス定期券利用者数	2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	交通事業者の持続可能な運営	地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり	<p>7. 計画達成状況の評価</p> <p>(1) 計画達成状況の評価</p> <p>【指標と目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の目標</th> <th>検討項目</th> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>現況</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公共交通サービス水準の向上</td> <td rowspan="3">高齢化に配慮したモビリティ環境の構築</td> <td>車両バリアフリー化の推進</td> <td>ノンステップバスなどの導入率</td> <td>80.3% 〔2017(平成29)年度〕</td> <td>92.0% 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自動車からの公共交通転換を促進</td> <td>高齢者の外出率</td> <td>66.6% 〔2015(平成27)年度〕</td> <td>現状維持 〔2020(平成32)年度〕</td> </tr> <tr> <td>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</td> <td>1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕</td> <td>2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バスネットワークの効率化</td> <td rowspan="3">地域状況に応じた公共交通の形成</td> <td>幹線交通での高サービスの提供</td> <td>バス利用者数</td> <td>7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援</td> <td>不便地域・空白地域の人口の比率</td> <td>26.2% 〔2010(平成22)年度〕</td> <td>25.0% 〔2020(平成32)年度〕</td> </tr> <tr> <td>乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> <td>18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>交通結節点の機能強化</td> <td>乗継拠点のシームレス化を推進</td> <td>乗継環境の改善</td> <td>乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> <td>18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td>現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>地域住民の機運醸成</td> <td rowspan="2">地域公共交通の活性化・利用促進</td> <td rowspan="2">広報活動・イベントの実施</td> <td rowspan="2">バス定期券利用者数</td> <td rowspan="2">2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕</td> <td rowspan="2">現状維持 〔2022(平成34)年度〕</td> </tr> <tr> <td>交通事業者の持続可能な運営</td> <td>地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり</td> </tr> </tbody> </table>	計画の目標	検討項目	事業名	指標	現況	目標値	公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	車両バリアフリー化の推進	ノンステップバスなどの導入率	80.3% 〔2017(平成29)年度〕	92.0% 〔2022(平成34)年度〕	自動車からの公共交通転換を促進	高齢者の外出率	66.6% 〔2015(平成27)年度〕	現状維持 〔2020(平成32)年度〕	高齢者の免許返納者数(65歳以上)	1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕	2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕	バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	幹線交通での高サービスの提供	バス利用者数	7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援	不便地域・空白地域の人口の比率	26.2% 〔2010(平成22)年度〕	25.0% 〔2020(平成32)年度〕	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	乗継環境の改善	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	広報活動・イベントの実施	バス定期券利用者数	2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕	交通事業者の持続可能な運営	地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり
	計画の目標	検討項目	事業名	指標	現況	目標値																																																																																								
公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	車両バリアフリー化の推進	ノンステップバスなどの導入率	80.3% 〔2017(平成29)年度〕	85.0% 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
		自動車からの公共交通転換を促進	高齢者の外出率	66.6% 〔2015(平成27)年度〕	現状維持 〔2020(平成32)年度〕																																																																																									
			高齢者の免許返納者数(65歳以上)	1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕	2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	幹線交通での高サービスの提供	バス利用者数	7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
		支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援	不便地域・空白地域の人口の比率	26.2% 〔2010(平成22)年度〕	25.0% 〔2020(平成32)年度〕																																																																																									
			乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	乗継環境の改善	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	広報活動・イベントの実施	バス定期券利用者数	2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
交通事業者の持続可能な運営						地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり																																																																																								
計画の目標	検討項目	事業名	指標	現況	目標値																																																																																									
公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	車両バリアフリー化の推進	ノンステップバスなどの導入率	80.3% 〔2017(平成29)年度〕	92.0% 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
		自動車からの公共交通転換を促進	高齢者の外出率	66.6% 〔2015(平成27)年度〕	現状維持 〔2020(平成32)年度〕																																																																																									
			高齢者の免許返納者数(65歳以上)	1,857人/年 〔2017(平成29)年度〕	2,500人/年 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	幹線交通での高サービスの提供	バス利用者数	7,854千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
		支線交通のサービス向上 デマンド交通等の運用支援	不便地域・空白地域の人口の比率	26.2% 〔2010(平成22)年度〕	25.0% 〔2020(平成32)年度〕																																																																																									
			乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	乗継環境の改善	乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	18,455千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	広報活動・イベントの実施	バス定期券利用者数	2,830千人/年 〔2016(平成28)年度〕	現状維持 〔2022(平成34)年度〕																																																																																									
交通事業者の持続可能な運営						地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり																																																																																								
8	<p>(2) 達成状況の評価</p> <p>【計画の見直しの考え方】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">計画名</th> <th colspan="3">計画期間(年度)</th> </tr> <tr> <th>2019(H31)～2020(H32) (短期)</th> <th>2021(H33)～2022(H34) (中期)</th> <th>2023(H35)～ (長期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)</td> <td>2019(H31)4月～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">↑ 評価</td> <td style="text-align: center;">↑ 評価</td> <td style="text-align: center;">↑ 見直し</td> </tr> </tbody> </table>	計画名	計画期間(年度)			2019(H31)～2020(H32) (短期)	2021(H33)～2022(H34) (中期)	2023(H35)～ (長期)	松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)	2019(H31)4月～				↑ 評価	↑ 評価	↑ 見直し	<p>(2) 達成状況の評価</p> <p>【計画の見直しの考え方】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">計画名</th> <th colspan="3">計画期間(年度)</th> </tr> <tr> <th>2019(H31)～2020(R2) (短期)</th> <th>2021(R3)～2022(R4) (中期)</th> <th>2023(R5)～2025(R7) (長期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)</td> <td>2019(H31)4月～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">↑ 評価</td> <td style="text-align: center;">↑ 評価</td> <td style="text-align: center;">↑ 見直し</td> </tr> </tbody> </table>	計画名	計画期間(年度)			2019(H31)～2020(R2) (短期)	2021(R3)～2022(R4) (中期)	2023(R5)～2025(R7) (長期)	松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)	2019(H31)4月～				↑ 評価	↑ 評価	↑ 見直し																																																														
計画名	計画期間(年度)																																																																																													
	2019(H31)～2020(H32) (短期)	2021(H33)～2022(H34) (中期)	2023(H35)～ (長期)																																																																																											
松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)	2019(H31)4月～																																																																																													
	↑ 評価	↑ 評価	↑ 見直し																																																																																											
計画名	計画期間(年度)																																																																																													
	2019(H31)～2020(R2) (短期)	2021(R3)～2022(R4) (中期)	2023(R5)～2025(R7) (長期)																																																																																											
松山市 地域公共交通網形成計画 (H31.3月策定)	2019(H31)4月～																																																																																													
	↑ 評価	↑ 評価	↑ 見直し																																																																																											